

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成 26 年 5 月 30 日

兵庫県知事 殿

提出者

住 所 兵庫県篠山市泉字脇谷 2 - 1 0

氏 名 株式会社 かね徳 篠山工場  
工場長

富山 昇司

電話番号 079 - 556 - 2861

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 かね徳 篠山工場
事業場の所在地	兵庫県篠山市泉脇谷 2 - 1 0
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	水産食料品製造業【0929】
事業の規模	製造品出荷額 2,737,26万円 (平成24年度)
従業員数	65人 (平成26年度5月時点)
産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 1・1-2のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 別紙 2のとおり	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
現状	【前年度( 25 年度)実績】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	(これまでに実施した取組) 昨年より、本年は、廃棄物の排出量全体では削減した。(前年対比83%だった)しかし、廃プラスチック・紙屑の廃棄物が昨年より3%増えた。(生產品目が少量多品種に成った為)細かい分別をし、再生利用に勤めた。特に廃プラスチック類の再生利用が出来ないか情報を、収集したが、我社の廃プラスチック類の再生利用する情報が少なく、再生利用が出来ても経費がかかる。引き続き情報収集を続ける。
計画	【目標】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	(今後実施する予定の取組) 前年度と同様に廃棄物の再生利用するために情報を収集して再生利用に勤める。 工場の各部署で廃棄物の削減を推進している。生産工程での不良品を出さない為、個々の意識改革を進める。
産業廃棄物の分別に関する事項	
現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工場内から出る廃棄物は、10種類に分別し、誰でも分別出来るよう標示して区別している。
計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物を現状より細かく分別し、再生利用を推進します。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
現状	【前年度 ( 25 年度 ) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 3 のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	( これまでに実施した取組 ) 製造工場なので自社での再利用は、食品の残さの肥料化		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 3 のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	( 今後実施する予定の取組 ) 今のところ食品の残さの肥料化以外の取り組む予定は無し。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
現状	【前年度 ( 25 年度 ) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 3 のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	( これまでに実施した取組 ) 昨年より、本年は、廃棄物の排出量も削減した。( 前年対比83%だった ) 排水処理施設の汚泥脱水施設の脱水効率をあげる用運転した工場から出る動植物性残さの肥料化		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 3 のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
( 今後実施する予定の取組 ) 汚泥の量を減らす為に排水処理施設の適正な運転に勤める。 生ゴミ処理機の処理量を増やす為に工夫する。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
現状	【前年度( 25 年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙 3のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙 3のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) 特になし	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
現状	【前年度( 25 年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙 3のとおり
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) 分別を強化して可能な限り再生利用出来るよう推進した。 産業廃棄物を法律厳守で適切な処理をした。	

計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 3 のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>特に廃プラスチック類及び紙屑類の再生利用が出来ないか情報を、収集をしていく。</p> <p>引き続き分別を強化して可能な限り再生利用出来るよう推進する。</p> <p>産業廃棄物を法律厳守で適切な処理をしていく。</p>			
事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

## 別紙 3

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状 前年度(25年度) 実績

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	木くず	動植物性残さ	硝子屑	鉄屑
排出量	1548.3 t	76.7 t	0 t	18.0 t	0 t	3.1 t

計画 目標

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	木くず	動植物性残さ	硝子屑	鉄屑
排出量	1517.3 t	75.2 t	1.3 t	17.6 t	0.97 t	3.0 t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

現状 前年度(25年度) 実績

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	木くず	動植物性残さ	硝子屑	鉄屑
自ら再生利用を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

計画 目標

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	木くず	動植物性残さ	硝子屑	鉄屑
自ら再生利用を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

現状 前年度(25年度) 実績

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	木くず	動植物性残さ	硝子屑	鉄屑
自ら熱回収を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した量	1349.4 t	0 t	0 t	14.2 t	0 t	0 t

計画 目標

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	木くず	動植物性残さ	硝子屑	鉄屑
自ら熱回収を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した量	1322.4 t	0 t	0 t	13.9 t	0 t	0 t

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

現状 前年度(25年度) 実績

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	木くず	動植物性残さ	硝子屑	鉄屑
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

計画 目標

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	木くず	動植物性残さ	硝子屑	鉄屑
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t